

## 第11部

# 南部・東部の振興



ここでは、県の東部を宇陀市、山辺郡、宇陀郡の1市3村、南部を五條市、御所市、高市郡、吉野郡の2市4町9村としています。

- 198 県内の過疎地域
- 199 森林面積
- 200 人口の社会増減
- 201 就業率
- 202 汚水処理人口普及率
- 203 持ち家比率
- 204 病院病床数(南部・東部)
- 205 観光客数
- 206 延べ宿泊者数
- 207 生活に関する満足度





## 県内の過疎地域

### 南部・東部の過疎地域は県全体の面積の77.5%



南部・東部の過疎地域は、南部の2市3町9村と東部の1市3村とあわせて18市町村あり、県全体の面積の77.5%を占めています。  
また、南部・東部の過疎地域のうち88.4%が林野となっています。

過疎地域自立促進特別措置法に基づく南部・東部の過疎地域は、大淀町を除いた18市町村となっています。

県全体の過疎地域の面積は、県面積の77.6%を占め、そのうち77.5%を南部・東部地域が占めています。

### 県内の過疎地域

資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

— 南部 — 緑 — 東部 — 過疎地域

南部・東部の  
過疎地域のうち  
88.4%が林野





## 森林面積

## 森林面積割合は南部で県全体を上回る



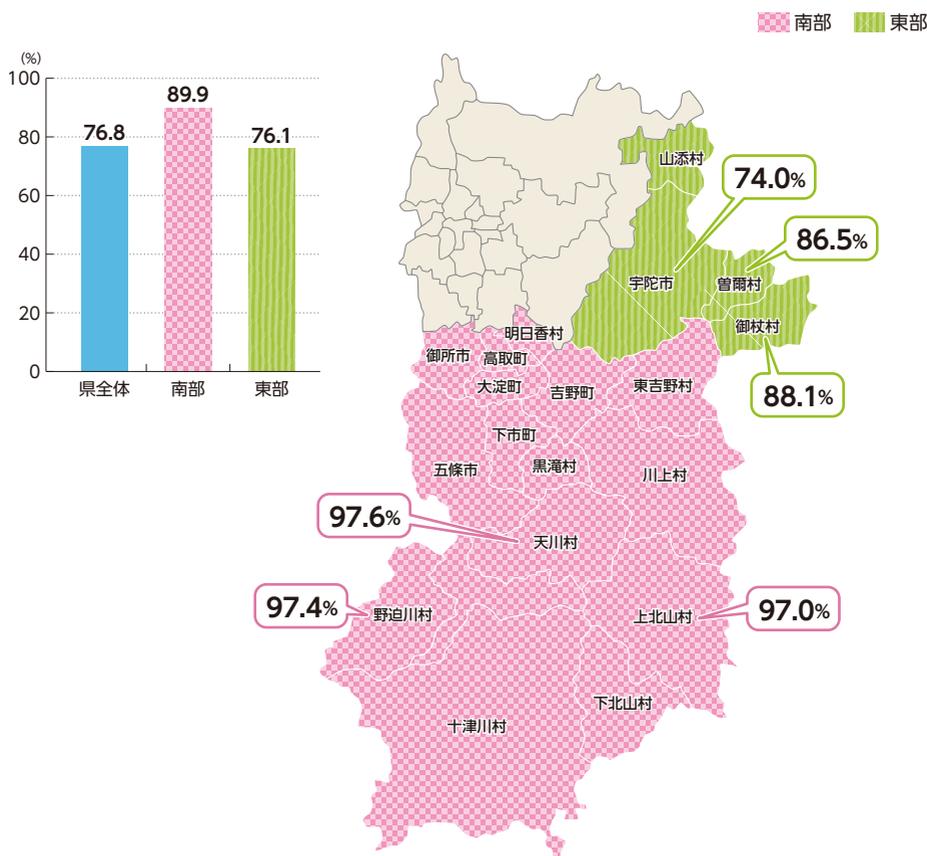
2023年(R5)4月1日現在の森林面積割合は県全体で76.8%、南部で89.9%、東部で76.1%で、南部は県全体を上回り、東部は下回っています。

市町村別の上位3位をみると、南部では、天川村(97.6%)、野迫川村(97.4%)、上北山村(97.0%)の順となり、東部では、御杖村(88.1%)、曾爾村(86.5%)、宇陀市(74.0%)の順となっています。

南部で最も森林面積割合が低いのは、御所市(50.6%)となっています。

## 森林面積割合(2023(R5)年4月1日現在)

資料：県森と人の共生推進課





# 人口の社会増減

## 人口の社会増減の減少率は、南部、東部ともに県全体より大きい



2017(H29)年から2022(R4)年の5年間の人口の社会増減率は、県全体が▲0.62%、南部が▲3.80%、東部が▲3.70%と、減少率が南部、東部ともに県全体より大きくなっています。

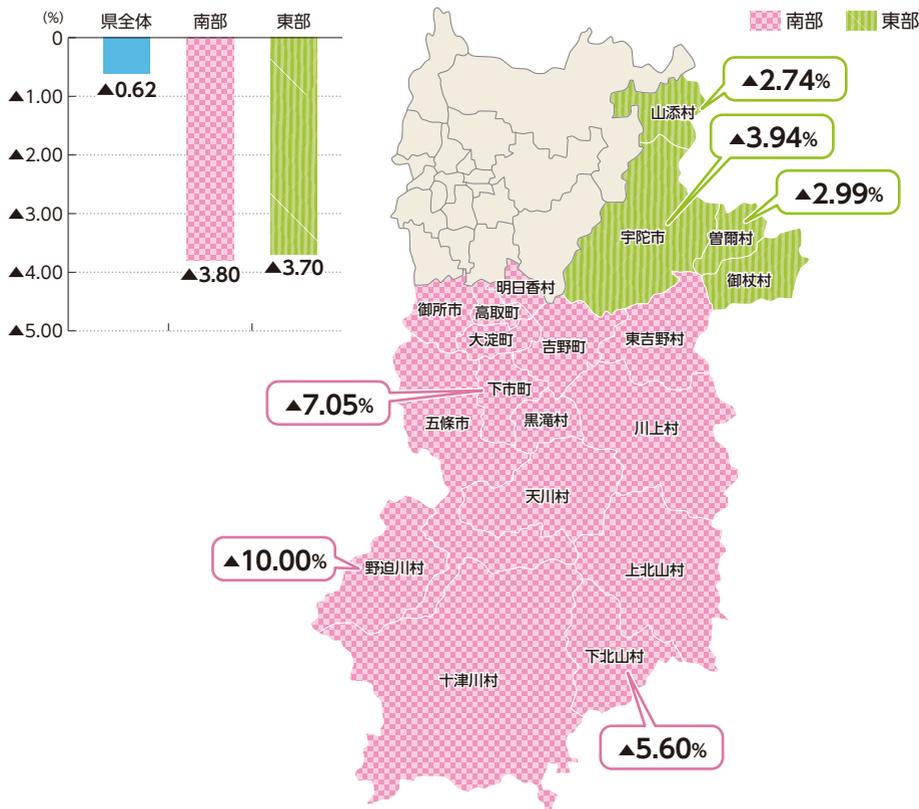
南部・東部地域のすべての市町村で、減少となっており、市町村別で減少率が大きい順でみると、南部は、野迫川村(▲10.00%)、下市町(▲7.05%)、下北山村(▲5.60%)、東部は、宇陀市(▲3.94%)、曾爾村(▲2.99%)、山添村(▲2.74%)の順となっています。

### 人口の社会増減率(2017(H29)年~2022(R4)年)

資料：県統計分析課「奈良県推計人口年報」

(算出方法 2017(H29)年10月1日から2022(R4)年9月30日までの(転入者数-転出者数)

／2017(H29)年10月1日現在推計人口





# 就業率

## 就業率は、南部、東部ともに県全体を下回る



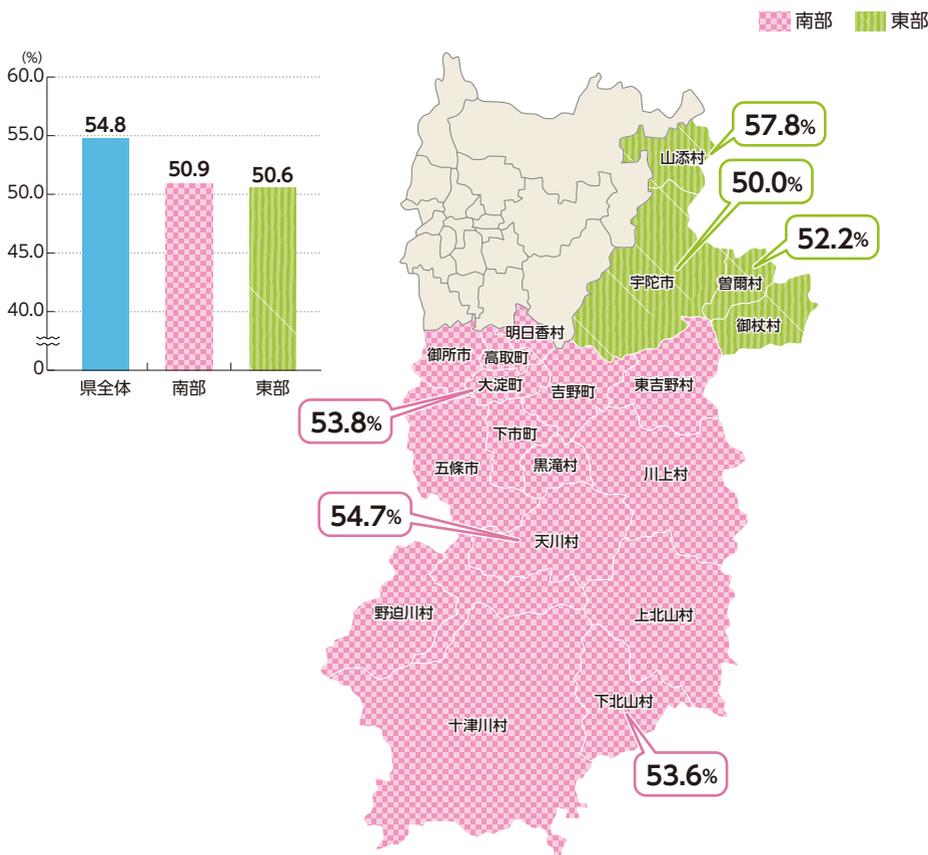
2020(R2)年10月1日現在の就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)は県全体が54.8%、南部が50.9%、東部が50.6%で、南部、東部とも県全体を下回っています。

市町村別の就業率上位3位をみると、南部は、天川村(54.7%)、大淀町(53.8%)、下北山村(53.6%)となり、東部は、山添村(57.8%)、曾爾村(52.2%)、宇陀市(50.0%)の順となっています。

一方、御杖村(45.3%)、黒滝村(46.0%)などの就業率が低くなっています。

### 就業率(2020(R2)年10月1日現在)

資料：総務省統計局「国勢調査」





## 汚水処理人口普及率

## 南部・東部の汚水処理人口普及率は約76%



2021(R3)年度末現在の汚水処理人口普及率は県全体で90.3%、南部で76.3%、東部で75.6%となっています。

●汚水処理人口…下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽、コミュニティ・プラントの処理人口。

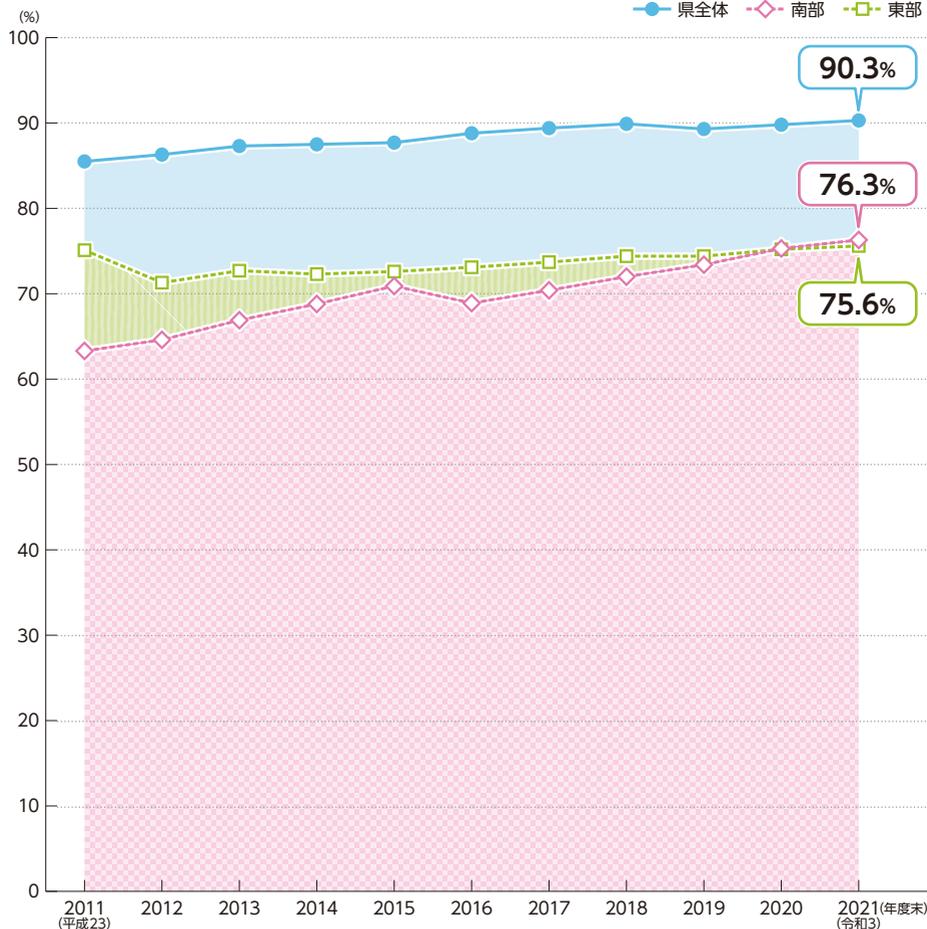
※この頁では、南部に御所市、高市郡を含まない。

## 汚水処理人口普及率の推移

資料：県下水道課

(算出方法 汚水処理人口 / 総人口(住民基本台帳人口による))

● 県全体 ◇ 南部 □ 東部





# 持ち家比率

## 持ち家比率は、南部、東部ともに県全体を上回る



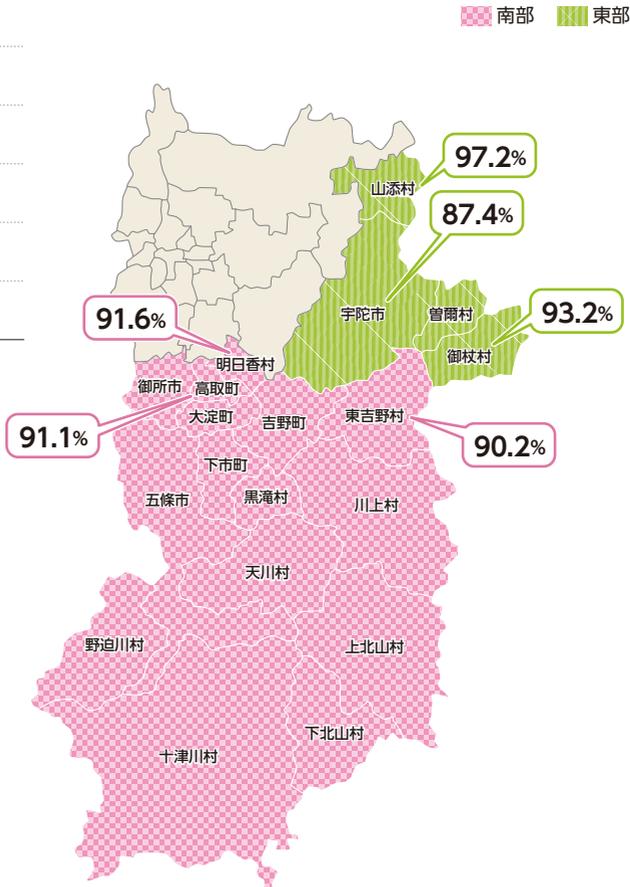
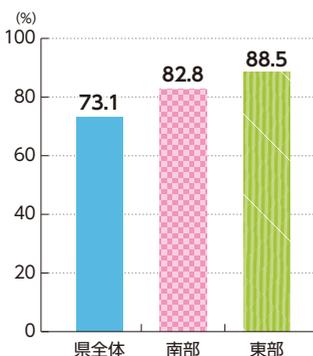
2020(R2)年10月1日現在の持ち家比率は、県全体が73.1%、南部が82.8%、東部が88.5%で、南部、東部ともに持ち家率が県全体を上回っています。

市町村別の上位3位をみると、南部は、明日香村(91.6%)、高取町(91.1%)、東吉野村(90.2%)となり、東部は、山添村(97.2%)、御杖村(93.2%)、宇陀市(87.4%)の順となっています。

### 持ち家比率(2020(R2)年)

資料：総務省統計局「国勢調査」

(算出方法 持ち家世帯/住宅に住む一般世帯)





## 病院病床数(南部・東部)

### 病院病床数は、南部が県全体を上回る



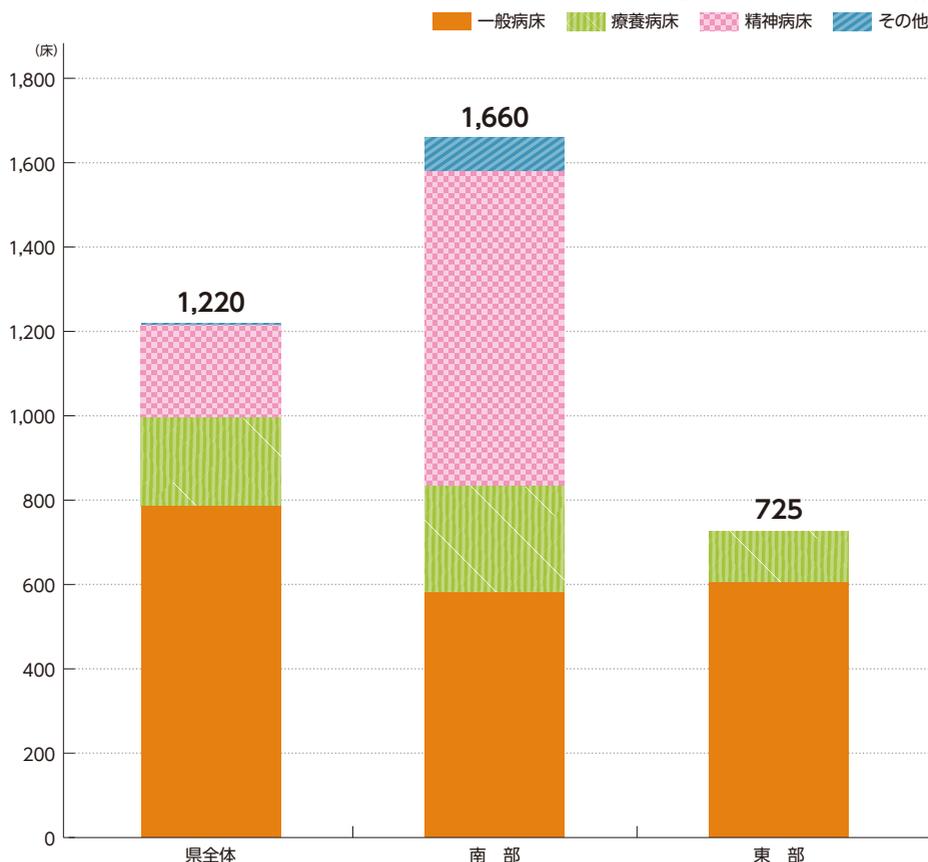
2021(R3)年10月1日現在の人口10万人当たり病院病床数は、県全体が1,220床、南部が1,660床、東部が725床で、南部は県全体を上回っていますが、東部は県全体を下回っています。

病院病床数ゼロの市町村は、南部では、明日香村、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村および東吉野村となっています。東部では、山添村、曾爾村および御杖村となっています。

#### 人口10万人当たりの病院病床数(2021(R3)年10月1日現在)

資料：厚生労働省「医療施設調査」

(算出方法 各種病床数/総人口)





## 観光客数

2021(R3)年の観光客数は、2020(R2)年に比べ南部・東部地域全体で増加。県全体に占める割合においても増加。



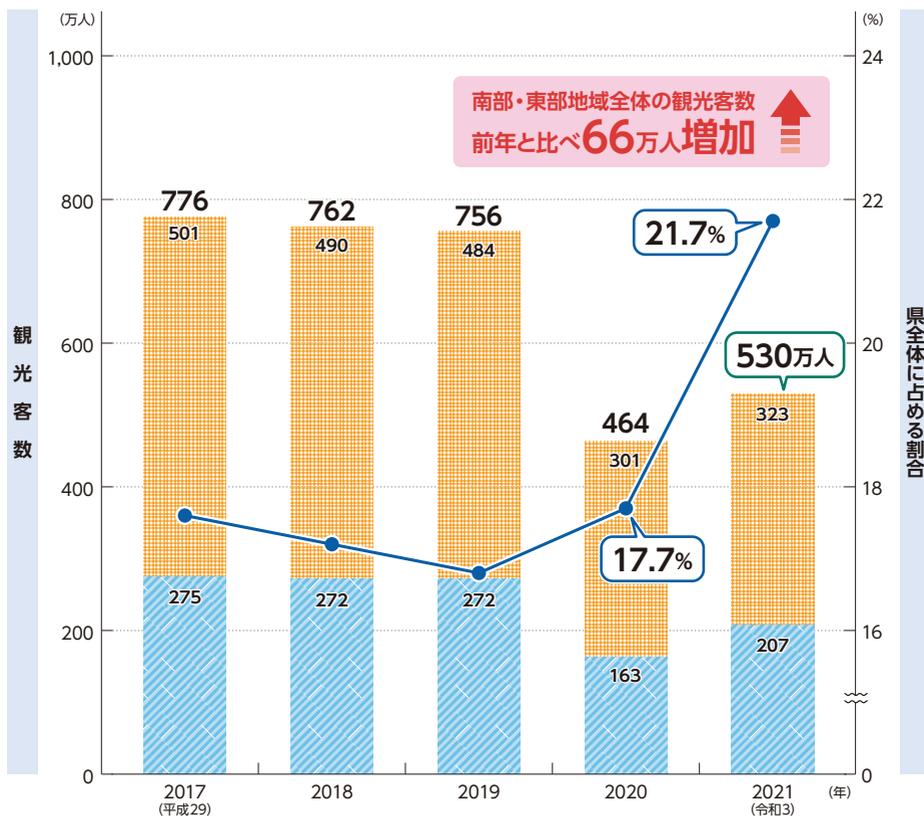
2021(R3)年の調査では、南部・東部地域全体の観光客数は、2020(R2)年の464万人から66万人増え(14.2%増)、530万人となりました。県全体に占める割合は、2020(R2)年の17.7%から4.0ポイント増加し、21.7%となりました。

## 観光客数

資料：県ならの観光力向上課

「奈良県観光客動態調査」より算出

■ 観光客数(南部) ■ 観光客数(東部) ● 県全体に占める割合(南部・東部)(右目盛)





## 延べ宿泊者数

2021(R3)年の延べ宿泊者数は、2020(R2)年に比べ南部・東部地域で増加。県全体に占める割合は減少。



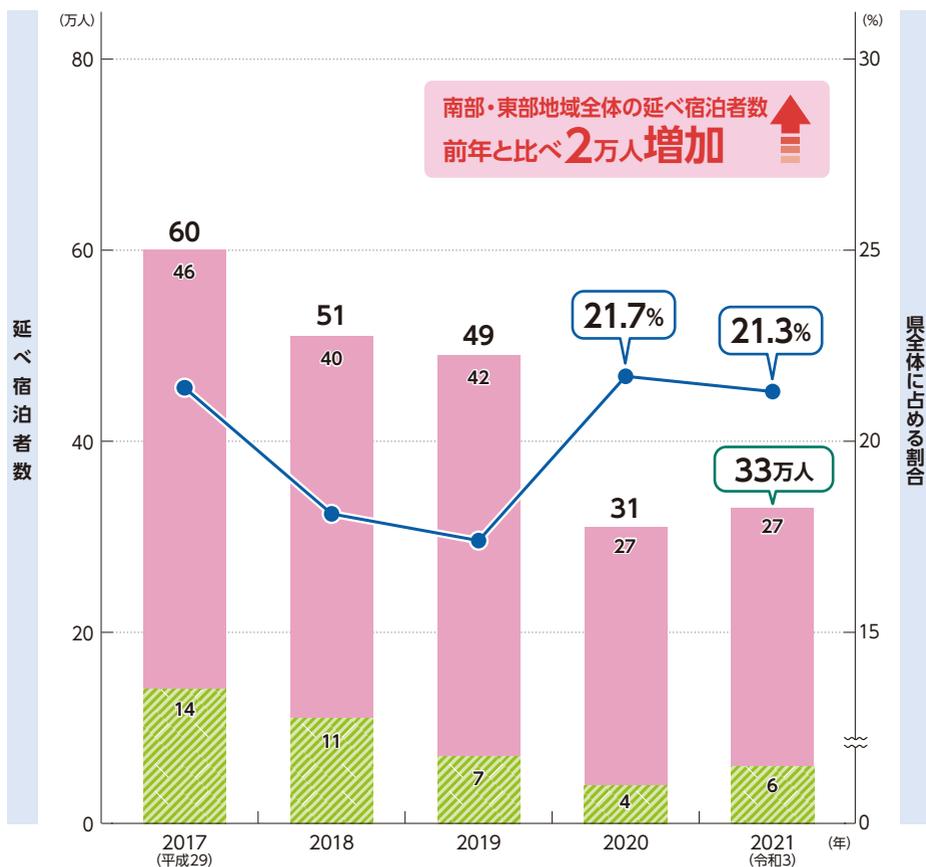
2021(R3)年の調査では、南部・東部地域の延べ宿泊者数は、33万人となりました。県全体に占める割合は、2020(R2)年の21.7%から0.4ポイント減り、21.3%となりました。

※この頁では、南部には東吉野村を含まない。東部には東吉野村を含むが、山添村を含まない。

## 延べ宿泊者数

資料：県観光局「奈良県宿泊統計調査」

■ 延べ宿泊者数(南部) ■ 延べ宿泊者数(東部) ● 県全体に占める割合(南部・東部) (右目盛)





## 生活に関する満足度

## 南部・東部地域は全ての項目で県平均を下回る



令和4年度県民アンケート調査では、生活に関する満足度は、全ての項目で県平均を下回っており、公共交通の利便性に関する満足度については、県平均を-0.71ポイントと大きく下回っています。また、2009(H21)年度と同調査の数値と比較すると、すべての項目で上昇しています。

2009年度(H21)調査との比較では、特に、「急病時の医療体制」に対する満足度は、0.54ポイント上昇(2009(H21)年 2.34 → 2022(R4)年 2.88)しています。

- 満足度…県民アンケート調査で、生活に関する各項目について5段階で回答いただき、それぞれに次の点数を与え、平均をとった値。
- ・十分満たされている(5点) ・かなり満たされている(4点) ・どちらともいえない(3点)
  - ・あまり満たされていない(2点) ・ほとんど満たされていない(1点)

※この頁では、南部・東部には桜井市を含むが、御所市、高市郡、山添村を含まない。

## 生活に関する満足度

資料：県統計分析課「県民アンケート調査報告書」

「奈良県観光客動態調査」より算出

— 令和4年度(県平均) —●— 令和4年度(南部・東部) - - - 平成21年度(南部・東部)

2009(H21)年度と比べ  
満足度が上昇している項目が多い

